

## 記 事

◎第8回理事会(昭.29.1.11)出席者:平井会長,福田,菊池両副会長,榎,中路,岡本,佐島,篠原の各理事,議事:1)12月中行事その他報告,2)昭和29年通常総会及び第10回年次学術講演会を東京(早大を予定する)で開催し,講演会準備は最上,片平理事に一任,見学会は次回までに数案作製すること,3)土木関係1954年国際会議(下記)について

a) The 2nd Congress of the International Commission on Irrigation and Drainage (アルジェー, April, 国内委員会は農林省内に常置), b) The Assembly of the International Assoc. of Hydrology (ローマ, Sept., IUGGの分科会で国内委員会はJSC内), c) The World Power Conferenceのブラジル部会(ブラジル July, 国内会議は動力協会内), d) The 1st International Congress of Ready-mixed Concrete (ブラッセル June), e) The 4th General Assembly of the International Union of Pure and Applied Mechanics (ブラッセル, July, 国内委員会はJSC内), f) The Annual Meeting of the International Institute of Welding (フロレンス, May),

4) 委員会委員追加について(法面築堤崩壊防止委員会の福永貞造君地方転出のため,後任に山本浩君を委嘱すること), 5) Indian Roads Congressから雑誌交換については先方の雑誌を見てから承諾, 6) 会員入退会承認, 7) 会員除名については今一度各理事から本人に交渉のこと。

### ◎各種委員会

1. 編集委員会(昭.29.1.22)出席者:岡本,佐島正副委員長,河上(東北),荒井(中部),村山(関西)各地方委員,菊池,齊藤,坂本,寺西,吉川,矢野,三上,三木,長浜,丸安各委員,中川書記長,徳平幹事。協議事項:(1)会誌及び論文集進捗状況報告,(2)投稿論文及び新規受付論文審査委員の決定,(3)39巻3号掲載論文を次のとおり決定。

徳善義光:国際大ダム会議第20回執行委員会について,田中五郎:欧州の熔接事情,鶴見一之:貯水池堆砂量の一算法,深谷俊明:断面及び径間を異にする3径間連続バリに対する曲げモーメントの一般的傾向,丹羽義次:堰堤基本三角形断面内の応力状態に関する光弾性的研究。

(4)39巻1号討議依頼先の決定,(5)依頼原稿の決定,(6)土木賞推薦論文を協議し学会賞及び奨励賞を若干篇づつ決定し,2月1日打合会を開き最終決定のこと。

2. 抄録委員会(昭.29.1.12)出席者:松本,渡辺

(隆),樋口,平嶋,渡辺(修)の各委員,千秋抄録幹事,徳平編集幹事,議事:第39巻第2号抄録として5篇を決定,繰越6篇,新規9篇につき協議した。

3. 第1回土木賞委員会(昭.29.1.14)出席者:福田,菊池両副会長,坂本,千秋,当山,沼田,広瀬(代徳平),藤井,吉田,鶴見,荒井,石原,田中,岡本の各委員,議事:平井会長に代り菊池副会長の挨拶の後委員長互選の結果満場一致吉田徳次郎君推薦,吉田委員長の挨拶に次いで議事に入る,2)論文審査方法は従来どおり編集委員会において下調べの上,各10編内外選び,これに推薦理由を附して,2月上旬に各委員に送附し次回までに研究する,次回には編集委員長の外に質問に応ぜられるよう担当委員を出席せしめること,3)土木賞授与方針は論文,工事報告,設計考案等から学会賞2編を選ぶこととし,なるべく純学術的のものに偏することなく,工事現場に直接関係あるもので優秀なものがあれば考慮すること,奨励賞も2編を目標とする,4)支部発行の論文集も対照とされたしとの議があつたが,そのような優秀なものがあれば学会誌に登載して全会員に周知せしめることを原則とする方針に基づくこと,5)次回は2月22日開催の予定。

4. 土木工学ハンドブック幹事会(昭.29.1.21)出席者:福田委員長,米元,丸安,嶋の各幹事,議事:ハンドブック各部門の用語統一について出版社技報堂と具体的事項を逐条協議の上,今後の進捗策について打合せた。

5. 第1回コンクリート鉄道構造物委員会(昭.29.1.25)出席者:平井会長,吉田委員長,沼田(代八十島),園分,丸安,最上,高橋,岡本,本間,友永,宮沢の各委員,山内,川口,市嶋,白石,長浜,深谷,三浦,田村の各幹事,議事:平井会長から本委員会の設立趣旨を説明し,吉田委員長外各委員に挨拶を述べ,吉田委員長から一場の挨拶の後議事に入る,1)原案について川口幹事から説明,2)各条項の大略朗読の上各委員の研究事項を摘出,3)次回から逐条細目審議の予定。

6. 第11回プレストレスト コンクリート委員会(昭.29.1.28)出席者:吉田委員長,伊東,猪股,海上,岡本,川口,川崎(代宮崎),小寺,園分,菅原,田村,田原,葦島(代白木),深谷,三浦,宮崎,村田,山崎,山田(代池田),渡辺,内山,友永の各委員,議事:1)第26条~第28条審議,2)友永委員から欧州事

情の報告があつた。

### ◎その他

1. 水理講演会(昭.29.1.13) 出席者:安芸委員長外70名,講演題目及び講演者:a)国際水理学会1953年大会報告(本間仁),b)アメリカの大学研究所を訪ねて(石原藤次郎),c)アメリカのダム所見(高田昭),出席者は皆水理専門家のこととて熱心に耳を傾け非常に盛況であつた。

### 2. JSC 新旧会員祝賀慰労午餐会(昭.29.1.19)

出席者:中原,菊池,田淵の新会員,吉田,稲浦旧会員,生野,那波,丹羽,久保田,草間,丹治の各名誉員,辰馬,黒河内,鈴木,岡田,大西の前会長,兼重,中島,中路,佐島,最上,片平の各理事,今岡管理委員,経過:最上理事会長不在のため代つて開会の挨拶に次いで午餐に移り吉田前会員が学術会議会員として3年間の経験を談ぜられ,田淵新会員はその抱負を述べ,中原新会員は学術会議の組織改変の従来の経過と政治的動きについて意見を開陳,その他JSCのあり方について敏談の後,兼重理事から新旧会員に対し祝詞と慰労の言葉を呈し会を閉じた。

3. 学会名簿 1月9日出来,正員以上に無料配布中である。

4. 日本学術会議(JSC)では1月20日から4日間新会員による初総会が開催され,会長に茅誠司氏,第5部長に大山松次郎氏が選挙せられ,土木関係会員は次の各種委員会の委員となつた。

中原寿一郎:防災に関する委員会,研究体制委員会  
学問思想の自由保証委員会,学術会議  
のあり方に関する委員会

菊池 明:防災に関する委員会

矢野勝正: "

田淵寿郎:ユネスコ委員会

## 支 部 だ よ り

◎中部支部 幹事会(昭.29.1.19) 出席者:松見幹事長,中島,長谷川,小村,戸田,渡辺,四野宮,鈴木(誠),鈴木(隆),井上,鈴木(和),早川,中谷,渡部,長坂,白井,河辺の各幹事,議事:1)松見幹事長からJSC会員選挙の結果報告と田淵顧問当選について謝辞を述べた。2)3月26,27両日名交会館でプレストレスト コンクリートと構造力学の講習会を開催することに決定(別項参照),3)2月28日佐久間ダム建設工事を見学する予定。

◎関西支部 第4回役員会(昭.29.1.21) 出席者:鈴木支部長,高西,島崎,福留,林の各元支部長,岩井,八島,岡部,山本,清水,谷,城塚,杉(代),池田,

吉田,小林,三木,樋渡,天野各商議員,森垣,成岡,安藤の各幹事,議事:1)商議員秋山養之助君の管外転勤にともなう後任は次回に決定,2)昭.29年度役員選挙は前年同様の方法により日時その他については支部長一任,3)関西支部土質基礎工学研究会委員会設置については再度検討,今回は一応保留次回で決定,4)橋梁工学講習会は3月25,26両日として具体的要領は実行委員会で決定,報告:支部長から各般の事務事業報告を行った。

◎西部支部 1) 第11回幹事会(昭.29.1.19)出席者:山東幹事長,山崎,乙藤,天方,下津,和田,福田(代)の各幹事,議事:1)後期研究発表会を1月30日鹿児島市で開催の予定,2)西部支部会員名簿発行について,3)西日本水害調査研究委員会について。

2. 第12回幹事会(昭.29.1.31) 出席者:山東幹事長,乙藤,天方,佐田,下津,和田の各幹事,議事:1)本年度支部総会の時期並びに大綱について,2)収支報告,3)水害調査,3)後期研究発表会(昭.29.1.30)鹿児島市南国交通ビルにおいて参加者200名を得て行われ次のとおり研究発表が行われた。なお講演会終了後午後6時より約100名にて晩餐会を開き盛会であつた。

開会の辞	土木学会西部支部長	田中吉郎
歓迎の辞	鹿児島県土木部長	是枝実
水平荷重をうけるヒンゲラメンの構造		
分配法による解法について	八工工業高校	塚本正文
現場コンクリート管理の一例		
	運輸省鹿児島港工事事務所	岡崎勝
アーチダムについて	九州電力	三浦一郎
級数によるモーメント分配法	熊本大学	吉村虎蔵
機関車による土工の計画		
	建設省八代工事事務所	藤原軍治
単軸梁のスパンについて	九州工大	岡積澁
Sand Drain 工法について	長崎県土木部	古賀秀樹
メウブベストによるラーメンの解法について		
	九州大学	村上正
		※吉岡繁男
ヨナの土質工学的性質について	熊本大学	園田類孝
地震時に於けるアーチダム応力の近似計算法		
	九州大学	小坪清真
小倉駅改良工事について	国鉄ト関工事事務所	安井三郎
鉄筋コンクリート煙突固有振動週期について(続)		
	八幡製鉄	中村清
コンクリート・プレーサー運転報告		
	建設省関門国道工事事務所	桑田博文
中小河川の研究(II) 感潮河川について		
	佐賀大学	高田京一
上推葉ダム冷却の理論と実際	九州電力	君島博次
セメントによる土質の改良について	九州大学	内田一郎
白川の流砂泥について	九州大学	篠原謹爾
		※薄慶治
重力式岸壁の一型式について		
	運輸省門司港工事事務所	佐田悦二

側節橋梁トラスのモーメント解法について

熊本大学 重松 愿

伊の浦橋架設工事における二、三の問題

建設省伊の浦橋工事事務所 村上 永一  
九州電力管内水害状況報告 九州電力 小川 武雄

米国に於けるコンクリート舗装工事の工程

建設省関門国道工事事務所 伊吹山 四郎

宮崎市に於ける台風性連続降雨の特性について

宮崎大学 川上 謙太郎

降雨強度曲線の一推定法と其の宮崎市への適用

宮崎大学 石黒 政儀  
閉会の辞 土木学会西部支部幹事長 山東 盛彦

4) 見学会(昭.29.1.31) 桜島熔岩見学会, 参加者  
50名は午前8時第3棧橋集合, 渡船にて桜島へ渡り,  
貸切バスで生々しい熔岩噴出の風景と, 住民の風俗,  
習慣などに目を見張りながら桜島口から引返し11時鹿  
兒島棧橋にて解散した。

国鉄人事異動について

去る2月4日発令された人事異動のうち土木関係の  
主なものをあげると次のとおりである。( ) 内旧取

関西総支配人兼大鉄局長 (関西総支配人)

江 藤 智

門鉄局次長 (金鉄局長)

今 井 四 郎

建設部長兼務を免ず (技師長兼建設部長)

藤 井 松 太 郎

建設部長 (東鉄局長)

大 石 重 成

静鉄局長 (施設局管理課長)

今 岡 鶴 吉

施設局管理課長 (同局計画課長)

中 路 誠 三

同 計 画 課 長 (名鉄施設部長)

柴 田 元 良

名鉄施設部長 (総裁室審議室付)

河 西 清

臨時財産監理部長 (四鉄局長)

篠 原 武 司

盛鉄局長 (建設部計画課長)

鈴 木 信 孝

建設部計画課長 (同 工事課長)

宮 沢 吉 弘

建設部工事課長 (西部副支配人) 小 田 仁

西部副支配人 (門鉄施設部長) 根 本 幸 次 郎

門鉄施設部長 (静鉄施設部長) 山 口 和 雄

静鉄施設部長 (東鉄施設部保線課長)

河 合 秀 夫

総裁室勤務 (東京工事事務所長) 増 田 誠 一

東京工事事務所長 (岡鉄局長) 市 村 益 夫

岡鉄局長 (調査役) 玉 井 淳

総裁室勤務 (仙鉄局長) 大 谷 新 太 郎

鉄道技術研究所次長 (関東副支配人)

大 槻 勝 雄

関東副支配人 (技師長付) 樋 口 保 三 郎

技師長付 (東鉄施設部長) 谷 川 会 治

東鉄施設部長 (仙鉄施設部長) 渡 辺 寅 雄

仙鉄施設部長 (施設局土木課) 市 嶋 武 視

昭和 29 年 1 月分入退報告 (29.1.1~1.31 現在)

- 1. 入 会 95 名 (特 3 級 1, 正 40, 准 42, 学生 12)
- 2. 退 会 17 名 (正 6, 准 11)
- 3. 転 格 6 名 (准より正 4, 正より准 1, 学生より准 1)

会 員 現 在 数 (29.1.31現在)

名誉員	賛助員	特別員 1 級	2 級	3 級	正 員	准 員	学生員	合 計	増加数
19	16	33	74	149	4 865	5 532	1 258	11 946	78

昭和 29 年 2 月 10 日 印 刷  
昭和 29 年 2 月 15 日 発 行

土 木 学 会 誌  
第 39 卷 第 2 号

定 価 100 円

編集兼発行者 東京都千代田区大手町2丁目4番地 中 川 一 美  
印刷者 東京都港区赤坂溜池5番地 大 沼 正 吉  
印刷所 東京都港区赤坂溜池5番地 株式会社 技 報 堂

東京中央局区内 千代田区大手町2丁目4番地 電話 和田倉 (20) 3945 番  
4078 番

発行所 社 団 法 人 土 木 学 会 振 替 東 京 16828 番